

特別研究Ⅱ (Graduation Research Work Ⅱ)

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
柴田、高崎、井上、伊藤、森、千原、星野、山口、小菅、澤田、榎本、杉浦	2年次前期	必修	3	72	演習		巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対するフィードバック方法	特別研究Ⅱでは、各領域における専任教員が、それぞれの研究分野における課題や在宅医療、臨床上の課題、新規臨床検査機器の検討などの専門性の高い研究をテーマとし、既に得られているデータの上に積み上げる研究方法の再検討など研究能力の向上に係る学修や修士論文の作成のための成果の集積を進める。 課題に対するフィードバック方法/解析結果のレポートなどについて、担当教員が責任を持って解釈・解説をし、課題とその結果に対する考え方を共有する。							
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー②「専門職業人として医療に対する幅広い知識と技能を駆使し、高度な臨床検査を実践できる。」及び③「健康に対する社会的ニーズを認識するとともに、グローバルな視野を持ち、科学的根拠に基づき、自ら考え、判断し、課題解決に向けて対応することができる。」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	1. 研究計画の構想をまとめ、整合性のある統合された研究計画書の作成ができる。 2. 各自が関心を持つ課題について、実験方法、データ解析およびその考察ができる。 3. 結果の考察から実験方法の問題点などを洗い出せる。							
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	第1回～第24回事前学習：事前に計画されている単元について予習を行っておく/シラバスに記載された内容を調べておくこと。(各30分) 第1回～第24回事後学習：研究内容の疑問や結果の解析で不明な点は、担当教員に質問するなどして明確にするよう努める/文献や担当教員から配布された資料で復習を行うこと。(各30分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。							
授業計画	第1回～第5回	実験に必要なデータの収集と、検体のサンプリング					担当教員	
	第6回～第10回	検体のサンプリングと測定					担当教員	
	第11回～第25回	検体のサンプリングと測定、結果の解析と解釈					担当教員	
	第26回～第36回	結果の解析と問題点の洗い出し					担当教員	
評価方法 評価基準	課題に対するレポート(60%)、プレゼンテーションの内容(40%)で評価する。							
教科書	教科書は特に指定しない。			参考書等		参考文献等は適宜、紹介する。		
学生へのメッセージ	特別研究Ⅱは修士論文をまとめるための研究であるが、研究費や環境への配慮も怠らずできるだけ効率の良い実験を行う。担当教員とよく相談しながら進めること。							